

授業科目名： 北東アジア研究特論（ロシア 1）		担当教員名： 新井 洋史 Hirofumi Arai	
選択必修： 選択 Elective	単位数： 2	セメスター： 後 Fall	開講言語： 日本語

ディプロマポリシーとの関連：

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●	●	

○授業の到達目標及びテーマ

ロシアは世界最大の国土面積を持ち、国連安全保障理事会では常任理事国の地位を占める大国です。その大国が 2022 年 2 月に隣国ウクライナへの侵攻を開始したことは、世界に大きな衝撃を与えました。それに対して、日本を含む西側諸国は対ロ経済制裁を強化し、世界の分断が一層深まる傾向にあります。

他方、地理的には、ロシアは日本にとっては最も近い隣国であり、好むと好まざるとに関わらず、無視できない存在です。ウクライナ侵攻開始前は、様々な面で日ロ経済交流が進展していたほか、経済制裁下でも一定の経済関係が継続しています。ロシア経済についての理解を深めることは、将来的な日ロ関係を考える上でも重要です。

また、ロシアは、旧ソ連時代の計画経済体制から市場経済体制への移行を経験しており、その影響が経済の様々な側面に残っています。権威主義的な政治体制であることも相まって、独特の経済構造を持つ国であると言えます。

こうした背景を念頭に、本授業では、ロシア経済を様々な側面から観察し、印象論にとどまらない、学術的に裏付けのある知見を得ることを目標とします。

○授業の概要

本授業では、1991 年の成立以降、30 年強の歴史を持つ現代の「ロシア連邦」の経済体制や経済構造を学びます。

具体的には、ロシアにおける市場経済移行の経緯を学んだ後、様々な側面から捉えたロシア経済の実情やそれらのテーマに関する政策展開の状況、さらには国際貿易を始めとした対外経済関係などについて学んでいきます。

本授業は、各回の担当学生がテキスト（または配布資料）の担当箇所の内容を報告し、その内容に関して受講生全員で議論する形で進めます。使用するテキスト・資料等は、受講生の興味関心等を踏まえて選択し、また報告回数については受講人数に応じて調整する予定です。

○授業計画

第 1 回 オリエンテーション

受講生の興味関心事項などを確認しながら、以下の授業計画を肉付けしていきます。そのプロセスの中で、授業計画を変更することもあります。

第 2 回 ロシアの市場経済移行

旧ソ連時代の社会主義から資本主義への転換に伴い、1992 年に開始された市場経済移行プロセスを概観し、それにより達成できた成果や副作用などについて学びます。

第 3 回 国家主導の経済システム

ロシアでは、90年代の市場経済移行プロセスの中で、国営企業の民営化が進められたにも関わらず、その後、エネルギーなど戦略的な主要産業において再国有化が進むなどしました。紆余曲折を経て成立した国家主導の経済システムについて学びます。

第4回 ロシア経済の成長メカニズム

ロシア経済は原油・天然ガスなどの地下資源輸出に大きく依存しています。これらがどのようにロシアの経済成長に寄与してきたかを学びます。

第5回 ロシアの産業政策

ロシア政府は、資源に過度に依存した経済成長の脆弱性を認識して、製造業を振興するための産業政策を展開してきました。これらの内容やその有効性などについて学びます。

第6回 ロシア企業の特徴

国家管理が比較的緩やかな部門では、私有企業が主役となっています。市場経済移行を経て発展を遂げてきたロシアの私有企業の特徴について学びます。

第7回 財政制度と財政政策

連邦制をとるロシアにおいては、連邦政府と地方政府との間の関係が、国の在り方を規定する重要な要素です。連邦・地方関係を考える上で重要な要素である財政制度について学びます。

第8回 金融システムと金融政策

商業銀行や証券市場といった資本主義・市場経済に不可欠の要素は旧ソ連時代には存在しませんでした。これらがいかにして成立し、どのような特徴を持っているかを学びます。

第9回 雇用と労働市場

旧ソ連時代の労働法制を下敷きにして発展してきたロシアの労働市場の特徴などについて学びます。

第10回 人口・社会保障制度

他の先進諸国と同様、ロシアも少子高齢化が進んでいます。その実態を理解し、ロシア政府がいかに対応しているかについて学びます。

第11回 国際貿易と海外直接投資

2000年代以降のロシアの経済成長は、経済のグローバル化の中で進みました。この間に、ロシアの国際貿易や海外直接投資が拡大してきた経緯などについて学びます。

第12回 国際分業と経済統合

経済のグローバル化の中で、ロシア経済も相当程度、国際分業体制の中に組み込まれてきたことについて学びます。

第13回 国際労働力移動

少子高齢化による労働力不足に対する一つの解決策は外国人労働者の導入です。旧ソ連諸国の存在がロシアでの外国人労働を特徴づけていることなどを学びます。

第14回 ロシアにおける脱炭素の取組み

世界的な脱炭素潮流の中で、化石燃料に大きく依存するロシア経済は大きな課題に直面しています。理念と現実のはざまに揺れ動くロシアの取組みについて学びます。

第15回 経済制裁と戦時経済

2022年のウクライナ侵攻を契機に西側諸国による対ロシア制裁は大幅に強化されましたが、ロシア経済は成長を続けました。どのようにして、ロシア経済が戦時下で成長したのかについて学びます。

○テキスト

初回授業において、教科書として用いる図書の候補を提示して、受講生と相談したうえで、これを採用するかを決定します。さらに、受講生の関心事項等に応じて、教科書とは別に、特定のテーマに

についての学術論文やシンクタンクレポートなどの文献を用いることもあります。

使用する文献は原則として日本語（場合によって、一部は英語の文献を利用する可能性有）であるため、ロシア語能力は必要ありません。

○参考書・参考資料等

同上

○学生に対する評価

授業への参加態度 20%、担当した報告の内容 40%、期末レポート 40%

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態：オンライン授業（リアルタイム配信型）